平成２７年度事業報告

１　事業の状況

⑴ 公益目的事業１

植村直己の業績についての展示公開に関する事業（定款第４条第１号関係事業）

【植村冒険館の管理運営】

①　植村冒険館の運営

所 在 地　東京都板橋区蓮根２－２１－５
建　　物　延床面積５１８．７７㎡
　　展示室　７６．６０㎡、情報コーナー　４２．７０㎡
開館時間　午前１０時～午後６時
開館日数　３０８日〔休館日：月曜（祝日のときは火曜）、年末年始〕
来館者数　１７，３３３人（５６．３人／日）
入 館 料　無　料

②　情報コーナー資料収集整備

情報コーナー利用者数　　１０，５１０人（３４．１人／日）
資料数（平成２７年度末）
・書籍　８，５６０冊（前年度８，５１０冊）
・定期刊行物　７種
・山岳団体会報・報告書等　４０団体　４９４部

③　その他の事業

ア　広告掲出（国際興業バス車内放送）
イ　地域まつり会場でのＰＲ活動（区民まつりに豊岡市冒険館と共同出展）
ウ　加盟関連団体
　日本山岳会、日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、
　東京都博物館協議会
エ　植村冒険館友の会
　会員数　平成２７年度末　２８６人（前年３０１人）
オ　その他の取材等協力
　撮影協力：「ザ・プロファイラー」ＮＨＫ－ＢＳプレミアム　ほか
　校正など：『伝記　植村直己』あかね書房の発行にあたり、内容の事実確認などを行った

【資料収集・保存及び調査・研究】

①　遺品等の収集及び保存

収集資料累計　　１，８４９点　（設立時　１，６０４点）

２７年度収集資料：４件（植村氏が１９７９年にバーラー賞受賞の際にイギリスの電通支社に寄贈したペナントほか）

②　遺品に関する調査

所蔵遺品の点検、毛皮関係のトランクルームへの収蔵

１９７８年北極点単独行に関する書類の調査

③　業績・関係者に関する調査

雑誌、放送番組など外部からの問い合わせに対する情報提供

【展示事業】

植村冒険館：通年開催　　（２７０日）

入室者数　　６，８２３人（２５．３人／日）

ア．植村冒険館企画展

	タイトル 内容	期間	入室者数
継続開催	**セルフタイマーギャラリー** ～植村直己が撮影した単独冒険の記録写真～ 単独行だからこそ、冒険の証として自分自身を「記録」した。セルフタイマーで撮影された写真を紹介した。	＊３月１０日から継続開催 ４月　１日～４月１４日（１２日間）	217 人 18.0 人／日
1	**単独行　北極点グリーンランド縦断** ～植村直己が達成した世界初の記録～ 1978年に植村直己が達成した北極点グリーンランドの冒険を紹介した。豊岡市の植村直己冒険館より資料を借用した。	４月２４日～７月　８日（６５日間）	1,650 人 25.4 人／日
2	**エベレストをめざせ！** ～ゴジュンバ・カン初登頂からエベレストへ～ 1965年にヒマラヤの未踏峰ゴジュンバ・カンに登頂した時の記録と植村直己がエベレストに立つまでの歩みを紹介した。	７月１７日～１０月２１日（８３日間）	2,090 人 25.2 人／日
3	**冒険家の押し入れ＋直己からの手紙** 冒険で使ったものではないが、冒険と関係が深い品々と外国から友人たちに宛てたハガキを紹介した。	１０月３０日～１月２４日（６９日間）	1,665 人 24.1 人／日

4	**メモリアル展　山頂に残された旗** マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介した。また、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。	２月　２日～ ２月２７日 （２３日間）	792 人 37.7 人／日
5	**メモリアル上映会** 毎日放送『植村直己　北極点に立つ』４回上映	２月２８日 （１日間）	33 人 33.0 人／日
6	**セルフタイマーギャラリー** ～植村直己が撮影した単独冒険の記録写真～ 植村直己が撮影したセルフタイマー写真に限定して展示した。文藝春秋の協力により、これまで写真集などに掲載されていない写真も大幅に追加した。	３月１０日～ ３月３１日 （２０日間） ＊４月１３日まで継続開催	302 人 16.0 人／日

イ．その他の展示

□板橋区立少年自然の家八ヶ岳荘「写真展」（通年）

□板橋区立榛名林間学園「写真展」（通年）

□板橋区小茂根図書館

「冒険家・植村直己の足跡」

期間：３月１５日～３月２４日（１０日間）

□関連施設での出張展示／明治大学博物館

期間：３月２６日～４月２４日（３０日間）

□学校展示／高島第一中学校

期間：２月１３日(学校見学会)　生徒数：３９０人

□小学生向け自由研究「地球たんけんパスポート」配布

期間：７月２２日～８月３０日（３６日間）２１５人

□「さらなる冒険」スタンプカード配布

「地球たんけんパスポート」の時に登録してスタンプカード発行。これを持参し３回来館した小学生に景品を贈呈

期間：９月１日～１２月２７日（〆切：１０月、１１月、１２月）

登録者数：１５６人／景品引き替え：２６人

□「クール！ザ・冒険館」南極「ミニ」体験

南極の氷と網走の流氷に触る、ミニ・ブリザードの中で風速を測る、観測隊員の防寒服を着て記念撮影など、展示室内で南極「ミニ」体験を実施(来館者全員対象)

期間：８月４日～５日(２日間)　２５２人(展示室入場者)

□「小学５年生スタディシート」配付

「世界の地理」を学んだ小学５年生に植村氏の冒険を紹介することを目的として、近隣の蓮根地域の小学校〔志村第六小、志村坂下小、蓮根小、蓮根第二小、志村第五小、高島第六小〕の５年生にスタディーシート(スタンプカード)を配付し、３回の来館で景品を贈呈

期間：２月２日～３月３１日（景品の引き換えは４月以降）
配付数：４６４枚／景品の引き替え：２人

【公益目的事業１の決算状況】　（単位：円）

事業項目		予算額	決算額
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		32,387,000	26,541,845
内訳	(1)冒険館の管理運営※1	23,077,000	18,751,020
	(2)資料収集・保存及び調査・研究	1,346,000	834,576
	(3)展示公開	7,464,000	6,456,249
	(4)周年記念事業※2	500,000	500,000

※1 予備費 200,000 円含む（正味財産増減計算書ベースでは計上しない）
※2 次期積立（正味財産増減計算書ベースでは計上しない）

⑵ 公益目的事業２

自然への関心を高めるための実体験事業（定款第４条第２号関係事業）

①　自然塾の実施
小・中・高校生を対象に、自然の中での活動を通じて、「ウエムラ・スピリット」に通じる強く生きるための力、人間らしい生き方を学んだ。
実施回数１５回　参加者　５０４人

回数	プログラム名 実施場所及び内容	実施月日及び期間	参加者数
1	**マウンテンバイクツーリング～利根川江戸川走破にチャレンジ～（中高生）** 利根川・江戸川沿い 利根川・江戸川沿いをテント泊、自炊をしながらマウンテンバイクで 180km 走破に挑戦した。	５月３日～５日 【２泊３日】	２２人
2	**冒険の森でサバイバルキャンプ～たき火で過ごし、クライミングウォールに挑戦！～（小学４～高校生）** 国際自然大学校日野春校 テント泊、自炊をしながら、クライミングウォールに挑戦した。	６月１３日～１４日 【１泊２日】	小学生 １８人 中高生 ９人 計２７人
3	**八ヶ岳冒険トレッキング～八ヶ岳最高峰(赤岳)に挑戦！～（小学４～高校生）**	７月２１日～２３日 【２泊３日】	小学生 １４人

	八ヶ岳 自炊をしながら赤岳に挑戦した。		中高生 ４人 計１８人
4	**夏のアドベンチャーキャンプ～川と森へ冒険に出かけよう～（小学４～高校生）** 尾白の森キャンプ場 テント泊、自炊をしながら、自然のなかで普段できない冒険に出かけた。	８月５日～７日 【２泊３日】	小学生 ３０人 中高生 ５人 計３５人
5	**伊豆大島まるごとキャンプ（小学４～高校生）** 伊豆大島 テント泊、自炊をしながら、海でのシュノーケリング、海釣り、三原山ハイキングに挑戦した。	８月１８日～２２日 【４泊５日】	小学生 ２７人 中高生 １５人 計４２人
6 ・ 7	**プールでカヌー体験（小学１～６年生）** 板橋区立志村第三小学校・板橋第十小学校 小学校のプールでカヌーに挑戦した。	９月５日 【１日】 ９月１２日 【１日】	６０人 ２６人
8	**フィッシングでサバイバルキャンプ（中高生）** 野島公園 ３日間ひたすら釣りに挑戦した。釣れた魚を自分達で調理し、自然と食のつながりを体験を通して学んだ。	９月２１日～２３日 【２泊３日】	１７人
ステップアップアドベンチャー（小学４～６年生）全４回の継続プログラム			
9	第１回：集まれ！オープニングキャンプ～キャンプの基本を学ぼう（黒川青少年野外活動センター） アルミ板を加工して、オリジナルスプーン作りに挑戦した。	９月１３日 【１日】	３５人
10	第２回:レベルアップチャレンジ～シーカヤックに挑戦（三浦ふれあいの村） 荒天によりシーカヤックは実施できなかったが、テント泊、自炊をし、班で課題解決ゲームに挑戦した。	１０月１０日～１１日 【１泊２日】	３５人
11	第３回:ヤブこぎチャレンジ～コンパスと地図を使って道なき道を進もう（埼玉県越生町） コンパスと地図だけをたよりに道なき道を進み登山に挑戦した。	１１月１５日 【1 日】	３４人
12	第４回：雪の世界にチャレンジ(国立妙高青少年自然の家) 自分たちの力でかまくらを作り、かまくらでの宿泊に挑戦した。	１月５日～７日 【２泊３日】	３６人

13	**スキーに挑戦！！～雪の上を爽快滑ろう～(小学４～高校生)** サンメドウズスキー場 自炊を伴う共同生活をしながら、スキーに挑戦した。	１月２９日～１月３１日【２泊３日】	小学生 ２９人 中高生 １０人 計３９人
14	**オーバーナイトウォーキング (小学４～高校生)** 小学生は南古谷駅からの３０ｋｍ、中高生は森林公園駅からの５０ｋｍを植村冒険館目指して夜通し歩く、毎年恒例の徹夜歩行。 寒さと眠気に耐え、参加者全員が完歩した。	２月２７日～２８日【２日間】	小学生 ３９人 中高生 １６人 計５５人
15	**クロスカントリスキーに挑戦！(小学４～高校生)** 休暇村裏磐梯クロスカントリースキー場 自炊を伴う共同生活をしながらクロスカントリースキーに挑戦した。	３月２６日～２８日【２泊３日】	小学生 ９人 中高生 ３人 計１２人

② アドベンチャー講座の実施

「ウエムラ・スピリット」に基づく、一般成人を対象とした自然体験講座の実施により、自然との触れ合い及び人と自然との関わりを体得する機会を提供し、登山などを安全に楽しむための正しい知識の普及と、自然を慈しむ精神を養うと共に、植村直己の冒険心についての理解を深めるための事業。

実施回数５回　参加者　１８１人

	実施月日	実施場所	種　別	参加	ﾘｰﾀﾞｰ･講師
1	6 月 13 日～14 日	浅間隠山・蓼科山	登山	４０	節田重節・山口章
2	7 月 31 日～8 月 3 日	薬師岳	登山	３９	節田重節・原邦三
3	9 月 5 日～7 日	妙高山・火打山	登山	３８	大谷映芳
4	10 月 23 日～25 日	会津駒ケ岳	登山	４０	原邦三
5	3 月 5 日～6 日	五竜遠見尾根	雪山登山	２４	山本篤ほか

【公益目的事業２の決算状況】　（単位：円）

事　業　項　目		予　算　額	決　算　額
自然の中での実体験事業		24,046,000	22,222,162
内訳	(1)青少年対象「自然塾」	16,566,000	15,532,098
	(2)一般対象「ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｬｰ講座」	7,480,000	6,690,064

＊参加者負担金収入額　＝　１３，２８６，１５０円
自然塾　：　６，２７０，７５０円
アドベンチャー講座　：　７，０１５，４００円

⑶ 収益事業等（その他の事業１）

その他、目的を達成するために必要な事業（定款第４条第３号関係事業）

【関連物品販売事業】

植村直己著書及び関連図書・ＤＶＤ・野外活動用品等を来館の記念として販売。

・グッズ等販売収入　　９７０点（３６種）７４０，１９０円
（内訳）　図　書：　１５０点　　１９８，１００円
　　ＤＶＤ：　３６点　　１８２，７９６円
　　物　品：　７８４点　　３５９，２９４円

【収益事業等の決算状況】　（単位：円）

事　業　項　目	予　算　額	決　算　額
関連物品販売事業	1,937,000	1,451,031